

まちかど ガーデンフォト コンテスト作品展・ 市民投票

9月30日(火)まで、市役所1階市民ホール。花と緑にあふれた美しいまちづくりを目的に募集したまちかどガーデンフォトコンテストの応募作品53点の展示と市民投票。市民投票後、園芸専門家などによる審査を経て入賞作品を決定します。本事業はNPO法人ふるさと環境市民との協働事業です。
圖みどり政策課 ☎70・5627。



「つなげよう!ちがいを
超えて友だちの輪」をテー
マにスピーチやパフォー
ムスなどを行います。
▼スピーチ出場者▽内容
外国人は日本語、日本人
は外国語で発表。テーマは
自由▽対象 市内在住・在
勤・在学か市内で活動して
いる個人▽その他 内容な
どが偏らないように調整す
る場合あり▼
パフォーマン
ス出場者▽内
容 世界の踊
りや楽器演奏
など。テーマ
は自由▽対象
市内在住・
在勤・在学か
市内で活動し
ている個人・
団体▽その他
内容などが
偏らないよう
に調整する場
合あり▼当日
運営スタッフ
▽内容 会場

あやせ国際 フェスティバル 出場者・スタッフ 募集

12月14日(日)に文化会館で開催するあやせ国際フェスティバルの出場者などを募集します。
「つなげよう!ちがいを超えて友だちの輪」をテーマにスピーチやパフォー
ムスなどを行います。
▼スピーチ出場者▽内容
外国人は日本語、日本人
は外国語で発表。テーマは
自由▽対象 市内在住・在
勤・在学か市内で活動して
いる個人▽その他 内容な
どが偏らないように調整す
る場合あり▼
パフォーマン
ス出場者▽内
容 世界の踊
りや楽器演奏
など。テーマ
は自由▽対象
市内在住・
在勤・在学か
市内で活動し
ている個人・
団体▽その他
内容などが
偏らないよう
に調整する場
合あり▼当日
運営スタッフ
▽内容 会場

タイム スリップ

入来文書から見た武家社会

鎌倉幕府成立後、源頼朝から厚い信頼を受けていた渋谷重国の子、光重には6人の子どもがおり、太郎重直・早川二郎実重・吉岡三郎重保・大谷四郎重諸・曾司五郎定心・落合六郎重貞と名乗り、綾瀬市内の早川、吉岡、早川字祖師谷(曾司)、落合と海老名市の大谷を所領にしていたと推定されます。

その後、一族の多くは薩摩国(鹿児島県)に移り住み、その移り住んだ地名、入来院を名字として以後幕末までの約600年間もの長い間、その地を支配しています。渋谷氏はその所領支配の内容を伝えた『入来文書』を残しました。その中でも、渋谷定心置文を一部抜粋すると、「一、五所宮(五社神社)の御祭りの時、もしは御修理のあらんときは、先例を訪ねて程にしたがいてその役を謹むべし、対俦すべからず」と、五社神社の祭礼について記してあり、他には牧場作業への動員の仕方などを伝え、当時の武士の規範を伝える貴重な資料となっています。

圖生涯学習課 ☎70・5637。



昭和初期の五社神社

行政相談委員は、総務大臣が委嘱します。国の仕事などに対する意見や苦情・要望を聴き、関係行政機関への助言や報告を行うなど、その解決を目指しています。
▼委員▽山田慶二氏▽池田久雄氏▼行政相談会 10月20日(土)26日の行政相談週間にちなんで開催。10月14日(火)13時~16時、市役所

行政相談委員

行政相談委員は「行政相談」を、人権擁護委員は「人権身上相談」を毎月受け付けています(日時などは広報あやせ毎月1日号に記載)。
圖市民課 ☎70・5605。

人権擁護委員

人権擁護委員は、法務大臣が委嘱します。人権を守るために相談を受けたり、人権の大切さを広めたりするための活動を行っています。
▼委員▽内藤重隆氏▽綱島好夫氏▽夢田節子氏▽小川早苗氏▽落合あい子氏▽加藤栄三氏

知っていますか 行政相談委員・人権擁護委員

の設営や入場整理、進行補助、飲食物配布など▼
10月17日までに同フェスティバル実行委員会事務局

(市民協働課内) ☎51140
@city.ayase.kanagawa.
jp ☎70・5640

きらめき 市民活動

まちかど特派員
レポート 河野 実



綾瀬発・釜石
応援プロジェクト
圖市社会福祉協議会
☎77・8166



▲夜店の準備をしている様子

7月25日22時、市役所を貸切バスが、綾瀬発・釜石応援プロジェクトメンバー12人、一般参加者28人の計40人を乗せ、岩手県釜石市へ出発しました。今年で3年目、11回目となる同プロジェクトの支援行動です。
東日本大震災の年の6月に県社会福祉協議会の要請で市社会福祉協議会職員が釜石市へ派遣され、そのつながりから翌7月にボランティアバスパックを実施。翌年度から市社会福祉協議会が呼び掛け、青年会議所、災害ボランティアネットワーク、ブタッコリ推進委員会、コミュニケーションサポーターあやせなど、7団体により発足しました。
当初のがれきなどの撤去作業、仮設団地での青空給食などの活動を経て、今年度は天神町仮設団地での「第2回釜石・綾瀬・夏の交流まつり」開催で、「自分たちも一緒に楽しもう」を合言葉に、準備を進めてきました。
当日は絶好の青空。まず



▲楽しそうに踊る子どもたちの様子

は復旧した三陸鉄道(南りアス線)に乗り、釜石市社会福祉協議会の方の話を聞きながら、車窓から沿岸部を見学しました。天神町仮設団地に到着すると、夏祭りの準備に取り掛かりました。祭りでは、釜石市の地元からキッズダンスやシンガーソングライターによる歌と演奏が披露され、同プロジェクトの参加者は、夜店を開き、焼きそば、バーベキュー、高座スイカなどを振る舞い、釜石の方々と交流を深めました。
このプロジェクトを今後も継続し、被災地の復興を見守り「東日本大震災を風化させない」というメッセージを発していききたいと思